

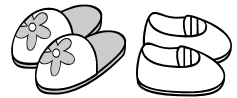
整理整頓の技術

修学旅行に出発した後の 6 年教室に入ると、すべてのイスが机の下に収まり、ロッカーの中や上も整頓され、掲示物の剥がれもなく教室全体が見事に整然としていました。担任の細やかな配慮をうかがい知ることとなりました。

ところで、**整理整頓を苦手**とする子どもは少なくありません。私などは大人でありながら苦手です。整理整頓ができないと、美観をそこねたり、物がじゃまで動きにくかったり、時にはちょっとした痛い目にあうこともあります。しかし、それだけに留まらず、**学習や仕事を妨げる原因にもなりかねません**。つまり、必要なものを紛失して大きなミスを引き起こしたり、物探しに無駄な時間を使ったりして非効率的です。

そこで、小さい頃から「整理整頓の技術」を身につけさせることが重要です。「なんで、いつも散らかすのよ！片付けなさい！」と言うだけではよい習慣は身につけません。いくつかのポイントがあるように思います。例えば、次のようなポイントを押さえてはどうでしょうか。

- ① 物を増やさない。(簡単に買い与えない)
- ② 不要な物は潔く捨てる。
- ③ 定期的(定時に)片付けタイムを設ける。(寝る前とか、夕食後すぐにとか)
- ④ 同じ場所に置く。
- ⑤ 簡単なことから習慣化する。(脱いだ靴やスリッパは必ずそろえる、靴下や下着を脱いだらかごに入れる、食べ終わったなら食器を台所まで運ぶ、etc.)



整理整頓の苦手な私でも④と⑤は意識しています。また、ファイルを机の中にしまう時、使い終わった物を必ず一番手前になるように収納しています。他のファイルは一つずつ奥の方へ押しやられますが、使用頻度の高いもの(重要なもの)が常に手前側にあり取り出しやすくなります。何かの本を読んでいて見つけた方法ですが、とても役立っています。